



TITLE:

# 腎臓血管腫の1例

AUTHOR(S):

土井, 羊吉; 古河, 昭司

---

CITATION:

土井, 羊吉 ...[et al]. 腎臓血管腫の1例. 泌尿器科紀要 1957, 3(5): 346-348

ISSUE DATE:

1957-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111452>

RIGHT:

## 腎 臓 血 管 腫 の 1 例

国立小倉病院皮膚科泌尿器科

土 井 羊 吉  
古 河 昭 司

## A Case of Renal Hemangioma

Yokichi Doi and Shoji Furukawa

*From the Department of Urology, National Kokura Hospital*

The authors have come across a case of an unmarried woman of twenty years old with hemangioma of the left kidney.

The complaints of the patient were idiopathic haematuria. The diagnosis of a renal tumor was given from the results of a renal x-ray and cystoscopic findings. The nephrectomy of the left kidney that it was in a state of cavernous hemangioma. After the operation, hematuria ceased completely, and the cause seemed due to a ruptured portion of hemangioma which was open to the renal pelvis. This is 6th case of hemangioma so far reported in this country either clinically or autoptically and is presumed to be the largest one.

## 緒 言

腎臓血管腫は稀な疾患とされ、本邦では臨床例 3 例、剖検例 2 例計 5 例の報告がある。黒田氏、阿部氏はそれぞれ臨床例 1 例を報告しあわせて文献的考察を行つているが最近著者は腎臓髓質より発生したと思われる腎臓血管腫 1 例を経験したので、これを報告する。

## 症 例

患者：20才未婚女子で血尿及び下腹部膨満感を主訴とし、昭和27年 5 月11日入院。家族歴には特記すべきものはない。

既往歴：12才の時急性肺炎、つづいて肋膜炎に罹患した以外は特記すべきことはない。月経は16才に始まり順調であつた。

現病歴：10日前左側腹部に鈍痛を覚え、開業医より左側腎結石症と診断され、検尿の結果血尿があるといわれた。この時には肉眼的血尿はなかつた。5日前突然純血様尿を排泄したが排尿痛、頻尿、発熱等の所見はなかつたが驚のため食慾不振となつた。

現症：体格栄養共に中等度の女子。胸部内臓には異常を認めず。皮膚表面に腫瘍、畸形等は認めない。呼

吸、脈搏正常。血圧149/90である。

腹部所見：腹壁平坦静脈の怒張は認められない。右腎は触れないが、左腎はその下極を触れ不平呼吸性移動良好、強く圧すると疼痛を訴える。梅毒血清反応陰性。ツ氏反陽性。血液所見は白血球4600。赤血球 409 万。血色素量85%ゼーリー。血液像リンパ球31%。好中球52%。大単球2%。エオジン好細胞13%でエオジン好細胞増多と軽度の白血球減少症を呈す。蛔虫卵陽性。

尿所見：純血様に強く濁濁。弱アルカリ性。蛋白弱陽性。沈渣には赤血球を多数に認め、少数の白血球、膀胱上皮を認める。

膀胱鏡検査：容量 200cc 膀胱粘膜には所見はないが三角部に豌豆大の凝血塊があり、左尿管口より血性尿が流出するのを認めた、インデゴカルミン排泄試験は右 5' 30" より左 5' 40" より青染尿をみ排泄機能は正常である。

腎盂 X 線所見：スギワロンによる排泄性腎盂撮影により、左腎盂下部に淡い陰影変形があり下方2カ所に腎盞像が内方に翻転せる像を認めた。右腎盂はやや拡大している。以上の所見により、左側腎腫瘍と診断した。

治療ならびに経過：昭和27年 5 月23日左側腎摘出術施行した。手術所見、腎は全体として少し肥大し、癒着は腎前面においては密に、後面においては比較的粗

に癒着す。これを剝離するに前面の 1/3中の所に、帯状の粗なる表面を有する暗赤色をした斑を認め、被膜下出血を思わしめた。後面及び腎莖には外部よりは異常を認めない。

術後は血尿全くとまり、一般経過も良好で1週後に抜糸、第18病日で創は閉鎖し治癒退院した。

摘出腎所見・肉眼所見。重量 170 g 大き 13×6×5 cm にてやや増大、表面は平滑で前面中 1/3の部に内側縁より外側縁に向い幅約 3 cm の暗赤色の境界明瞭な帯状の被膜下出血斑を有し、斑の表面は多少の凹凸がありやや硬く脆い感じがするその他は色調の変化及び他の異常所見は認められない。剖面においては腎盂内に雀卵大の凝血塊があり、腎実質の下半部は暗赤色腫瘍が鶏卵大に拡がり不正形をなし、その部に多数の血管が網状をなしているのを認めた。皮質部は腎表面の出血斑に一致して小指頭大の暗赤色出血部があり一見出血性の梗塞状にみえる(写真1, 2.)

組織的所見：顕微鏡的には腎皮質部の出血部は血球性円柱であつて、その他の腫瘍部は円形乃至不正形且つ大小不同の血管腔より成り、これら管腔の内壁は一層の扁平な内皮細胞によつて包まれている。これら腔内にはいずれも健常な多数の赤血球及びごく少数の好中球が認められ、血栓形成等の所見はない。血管壁には少量の結合織及び平滑筋線維が認められ中に少数の好中球、リンパ球及び大単球の浸潤を見るが間質結合織の増殖は一般に著明でない。次に周囲腎組織との境界は凹凸不平で、附近の一部の細尿管には可成り内容狭小となり上皮細胞の扁平化したものがみられる。以上要するに周囲腎組織との境界は不明瞭ではあるが血管内皮細胞の異型増殖像は全く無く海綿様血管腫と考へて差支えないものと思う。

## 考 按

腎臓海綿様血管腫は比較的稀なものと考え臨床的にはほとんど意味がないといわれるが、著者は20才の女子に腎部の軽い疼痛と血尿を訴えた症例を経験した。Watson 及び Cuninghame は腎血管腫は通常被膜下に生じ大きさは豌豆大より胡桃大であると述べている。大きさでは Brodeur は10例の良性腎腫瘍の内1例の血管腫 Vascular Fibromyoma の20ポンドに達するものを報告している。阿部氏及び黒田氏は詳細なる考按を行つてゐるが著者の経験したところを簡単に考按してみると、年令では若いものに多いとされてゐるが著者の例でも20才におこつ

ており、大きさは豌豆大が多いとされているが著者の例では約鶏卵大で比較的大きいものに属する。発生部位は Garclaū は髓質に発生すると述べており著者の例もまた乳頭部に近い髓質におこつてゐた。病理組織学的には腫瘍は従来の例と似て周囲の腎実質内に突出しており被膜は有しなかつた。腫瘍の組織像としては諸家の報告と大体において一致しているが、腫瘍の前面において一部破壊され同部と腎実質の間に血腫を形成し、それに対応する腎皮質部に血液の浸潤を認めている点はやや他の症例と異なる様に見える。病状については大体において、一般の腎良性腫瘍は無症候性で大きくなつた場合に初めて血尿がおこるといわれているが、腎血管腫はこれと反対に血尿が主な症候であるといわれているが、著者の例では比較的大きくなるまで血尿に気付かず、相当大きくなつて腎部の鈍痛と血尿を生じた。血尿は最初は肉眼でかろうじて見える程度のものが腎部の鈍痛を訴へたる後は純血様となつたのは、その際に腫瘍の破壊部が大きくなつて血腫を生じ、更に腎実質内に血液の浸潤がおこつたためと思われる。著者の例の場合皮膚その他の部位に血管腫は合併していなかつた。腎盂X線像については著者の例では他の腎腫瘍と同様に腎盂像の変化を認めておつた。本邦症例では著者の症例が最も大きい腎血管腫と思われる。

## 結 論

1) 20才女子に特発性血尿があり、腎盂撮影にて左側、腎下極部に陰影変形を認め、腎腫瘍と診断し、腎摘出術施行、組織学的検査により腎実質内に発生せる海綿様血管腫であることを認めた。2) 術後血尿は止り、血尿の原因は該血管腫の管腔の一部が破れ、腎盂の一部と交通してゐたためと考えられる。3) 本症例は本邦における剖検、臨床例合せて第6例目にあたり、且つ最大のものと思われる。

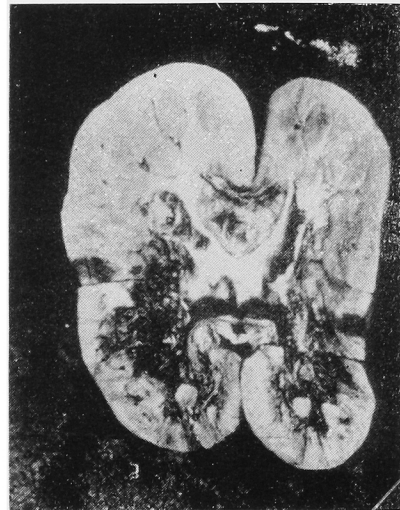
(稿を終るに当り恩師富川教授の御校閲に感謝致します。本稿の要旨は日本皮膚科学会福岡地方会第102例会で述べた。)

## 主 要 文 献

- 1) 福田: 日病理誌, 1: 121, 1911.
- 2) 黒田: 日泌誌, 40: 89, 1949.
- 3) 大野: 皮尿誌, 23: 812, 1923.
- 4) 阿部: 日泌誌, 43: 119, 昭27.



1 摘出腎

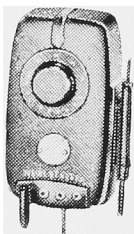


2 同割面

©米國Birtcher社製

HYFREATOR

高性能、主なる用途



set No 709

ハイフリケーターは米  
國で評判の最も進歩し  
た理想的電気治療器で  
す

外科、皮膚科、婦人科  
眼科、肛門泌尿科、其  
他一般開業医に愛用さ  
れ御好評を賜っていま  
す。

ELCTORO  
DESICCATION

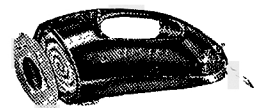
FULGURATION

COAGULATION

(脱毛、ほくろ、わきが  
狼疹、血管腫、血膜炎  
化膿性芽胞、袋瘻、類  
粒性肉頭炎等  
(疣、疔、角化症、軟性  
下疳、乳頭腫等  
(扁桃腺、子宮頸炎、子  
宮粘膜瘤、痔、腫物

©Birtcher SPOT-QUARTZ

無熱紫外線ランプ set No 625



◎ 1秒~12秒の照射時間で著効  
◎ 普通の電灯網で使用できる  
◎ 1.8キロの重量で携帯にも操作に  
も便利

西独ドレーゲル社 閉鎖循環式麻酔装置・デレット社替刃メス  
米國バアチウユアー社電気医科器械・内外・医科器械  
大阪市南区塩町通四丁目五五番地

二 葉 商 事 株 式 会 社

電話 船場 (25) 4885・5378番

型録文献送呈